

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 3 月 31 日作成)

小委員会名	ワークスペース・プロダクティビティ研究小委員会	主 査 名：川瀬貴晴 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会	委員長名：加藤信介
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の建築に関わる知的生産性研究について調査する。</li> <li>・知的生産性の概念を整理する。</li> <li>・その評価方法について考え方を整理する</li> <li>・最終年度に成果をまとめて公表する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	村上周三 (慶応大学) 加藤信介 (東京大学) 秋元孝之 (関東学院大学) 近藤靖史 (武蔵工業大学) 田辺新一 (早稲田大学) 杉浦敏浩 (日建設計) 伊藤一秀 (東京工芸大学) 西原直枝(早稲田大学) 樋渡 潔 (大成建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2006 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1 . 当初計画よりも早く研究が進んでいる。
委員会活動の問題点・課題	1 . 特に無し

- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。
- \* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

## 2006 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	当初想定したよりも順調に研究が進んだため、2年間で想定した期間よりも短い期間で当初目的を達成できそうである。			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。